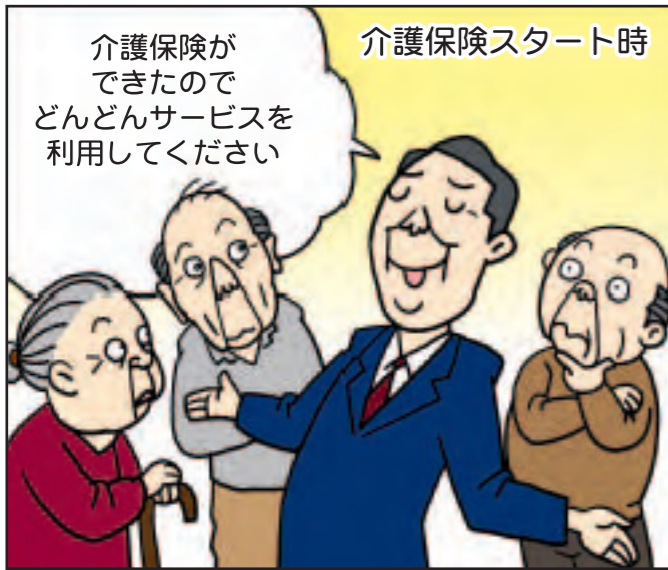
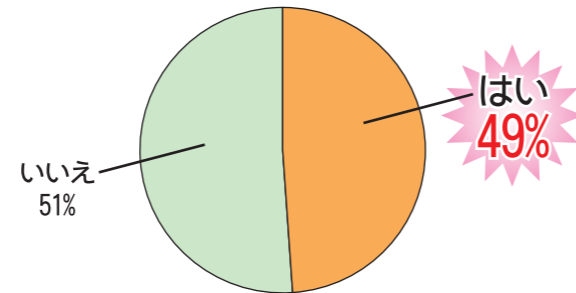


# 日本の介護の現状…



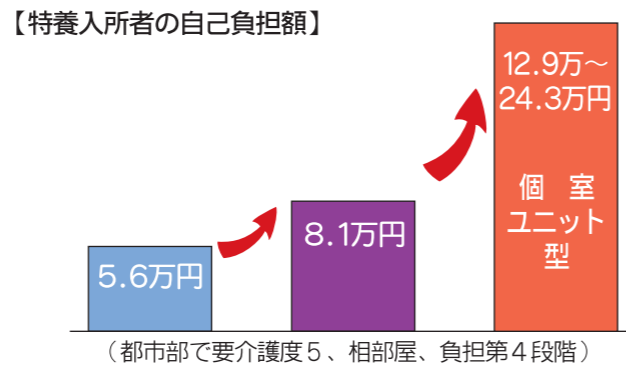
● “介護予防” の名の下にサービス削減  
**約2人に1人**が  
 今まで利用していたサービスを削減されました  
 【今まで利用していた時間や回数を減らさざるを得なくなった】



(出典：東京都社会福祉協議会調べ2006年)



● 食費・居住費の自己負担を大幅アップ



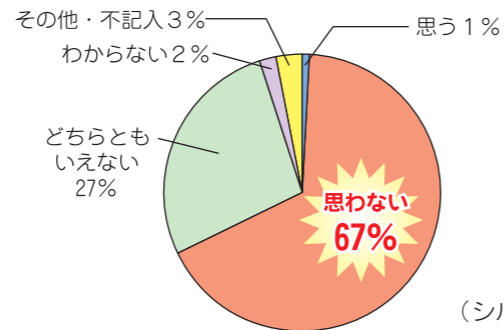
【特養入所者の自己負担額】  
 (都市部で要介護度5、相部屋、負担第4段階)  
**負担増で少なくとも約1000人が退所**  
 (厚生労働省調べ)



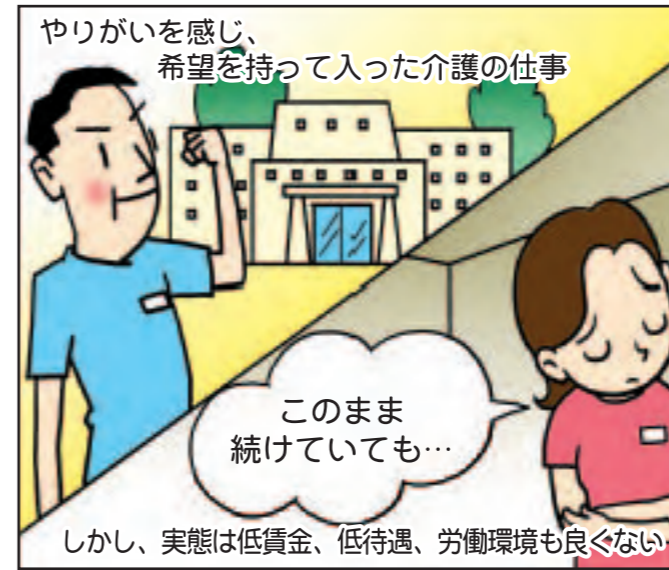
● 安心して暮らせない介護保険制度

★生活を把握するケアマネの7割が安心して暮らせない制度だと考えています。

【高齢者が安心して暮らせるようになったと】



(シルバー新報調べ)



● 事業者・労働者の首を絞める度重なる介護報酬削減

★介護報酬の見直しごとに報酬を削減

2003年改定 ▼2.3% **削減**  
 2006年改定 ▼2.4% **削減**

その結果、介護職員の平均給与は…

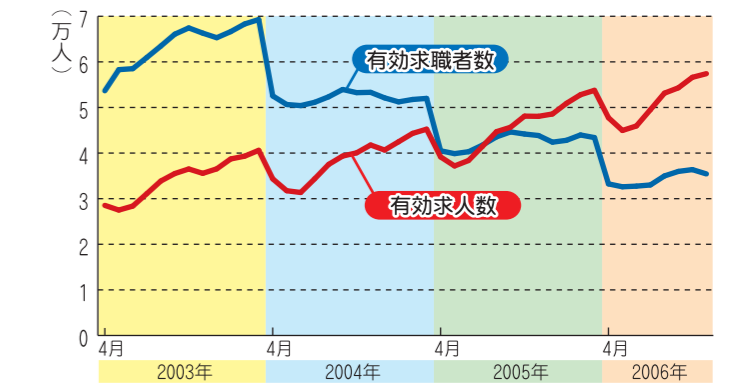


(新規求人平均給与：中央福祉人材センター調べ)



● 深刻な介護の担い手不足

【福祉人材の求人、求職者数の推移】



(中央福祉人材センター調べ)



● 使い捨て労働としての“准介護福祉士”創設

★外国人介護士に資格を与えるために“准介護福祉士”を新たに創設。

★介護福祉士養成施設教員ら 質の低下を懸念 **7割** が反対。  
 (福祉新聞調べ)

- ▶ 介護保険料を支払っても、必要な時にサービスを受けられない
- ▶ 劣悪な雇用・労働環境がサービスの質をさらに低下

➡ **日本の介護基盤は崩壊寸前！**